



【教育目標】

- すんで学習する子ども
- やさしくてうれしい子ども
- 最後までやりぬく子ども
- 元気で明るい子ども

【重点目標】

「いいね わかる つたえあおう」



節目を大切に



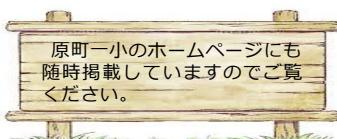
後期が始まりました。日本には昔から「節句」や「二十四節氣」などの節目があり、正月やひな祭り、子どもの日、七夕、お月見は節句として慶事・吉事として行われています。秋分や立冬、夏至などは二十四節氣で微妙な季節感を感じさせます。そろそろ「寒露」でしょうか。

毎日生活していると気づかないような小さな変化を確認し、成長を喜び、新たな目標を見つけるいい機会です。学期の節目はもちろんですが、学校では音楽祭やマラソン記録会、学習発表会などの行事も子どもたちの成長を感じる一つの節目になります。お子様の成長を親子で確認する機会になればと思います。

前期終業式

前期終業式を体育館で行い、1年生と6年生の代表児童が前期の思い出等を発表しました。

1年生が先生方にインタビューする学習をしていて、この日は1組と2組がそれぞれ校長室に来てインタビューしました。



毎日の授業も、落ち着いて一生懸命頑張っているけやきっ子が多いです。「本気で」頑張る子どもの姿はいつも素敵です。



秋の交通安全教室

集団登校での歩行の仕方を練習したり、自転車乗りのルールを確認したりしました。ルールを守るだけでなく、危険を回避する行動で命を守ることが大切です。また、自転車による加害者にならないよう気をつけることも必要です。

金槌を使って木工作品を作っています。釘を打つ作業にはじめは苦労していましたが、だんだん上手になってきます。何事も経験が大切です。

